

山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第29号 (平成31年3月発刊)

目次

会長あいさつ…………… 1
 選手「我が子」の指導・強化を振り返る…………… 2
 中学・高校の部活動指導について… 3
 研修会の報告…………… 4～5
 笛吹支部研修会報告…………… 6
 山梨県スポーツ指導者協議会表彰………… 7
 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰… 8
 事業報告・事業計画…………… 9



平成30年度山梨県スポーツ指導者協議会 総会 (H30.6.9)

今後の取り組みとしての

ひとつの道筋



会長 市村 一司
・体操上級コーチ

平成三十年度の関東ブ
 ロック会議の講演でス
 ポーツエキスパート制度
 の紹介があった。

早速、本県の制度につ
 いて問い合わせたところ、
 平成三十年度から「部活
 動指導員」の制度が始まっ
 たことがわかった。既存

の「外部指導者」の制度
 では中学や高校の部活動
 で外部の指導者が学校の
 指導者として位置づけら
 れると監督ができる制度
 であった。しかし、引率
 は教諭でないとできない
 というものであったが、

「部活動指導員」の位置づ
 けでは、監督と同時に引
 率も可能になるというも
 のになった。そして「部

活動指導員」の候補者に
 は五項目の資格等の条件
 があり、その一つに公認
 スポーツ指導者の項目が
 あった。ただ、五項目の
 条件は一つでも該当する
 事が望ましいということこ
 ろまでであった。

新設されたこの制度は
 今後、継続充実していく
 ものであり、スポーツ指
 導者協議会としても公認
 スポーツ指導者の位置づ
 けが一部認められている
 ため、支援・協力を惜し
 まない。



選手「我が子」の指導・

強化を振り返る



山梨県カヌー協会

強化主任

都築 和久

やせっぽちで、泣き虫
 だった、我が子がプレッ
 シャーに打ち勝ち、日々の
 努力で国体で二種目優勝。
 これまでの指導を振り返
 る。

千空姫（娘）がカヌー競
 技を始めたのは小学校四年
 生からである。そして、私
 が千空姫を本
 格的に指導し
 たのは中学一
 年生の時から
 である。父と
 して指導者と
 して千空姫が
 カヌーを行う
 ことは賛成で
 はあったが、



あった。千空姫に対
 しても、特別扱いは
 せず、練習中は父で
 はなく指導者として
 私に接することを言
 葉では伝えなくとも
 本人は理解をし、あ
 いさつや敬語は当た
 り前に行う事も、本
 人が納得し覚悟を決
 め中学校から本格的
 にカヌーの練習がは
 じまった。



千空姫がカヌーを
 本気で始めた中学
 生の時、指導した選手がイ
 ンターハイや国体で何人も
 チャンピオンとなり、トッ
 プ選手を見て育った。千空
 姫自身もその中で日本の決
 勝の舞台で勝負することを
 目標に練習に励んだ。きっ
 と、私の娘と言うことで、
 大会ではトップ選手や指導
 者に声をかけられ嬉しい反
 面、勝たなければいけない
 という計り知れないプレッ

マシーンを買い練習を行え
 る環境が作れた。練習は辛
 く家で行っている時、目標
 がクリアーできず泣き崩
 れ、その時は妻が支えた。
 そして、何よりも大き
 かったのは妻の存在であ
 る。心のケア、栄養面のサ
 ポート、これなくしては絶
 対に国体で優勝できなかつ
 たことは確信できる。だか
 らこそ、今、大事にしてい
 るのは、選手、保護者、指
 導者のミーティングを行
 い、三者が一体となり効果
 的に練習を行っていくこと
 に力を入れている。

千空姫はここで競技を辞
 め、新たな目標でもある、
 理学療法士となるため、地
 元の大学に進む。最終的に
 はアスレティックトレー
 ナーをめざし、山梨県そし
 て、日本のトレーナーをめ
 ざし走りはじめた。私も指
 導者として目標を持ち走り
 続ける。

中学・高校の部活動指導について



山梨県立巨摩高等学校ホッケー部

外部指導コーチ

相馬 克彦

ホッケーに出会って30年、コーチに携わって17年が経つ。コーチ経験はまだまだ浅く、現在も日々、その時のベストを模索しながら選手と共に頑張っている。私自身、中学校・高校・大学すべてにおいて恩師に恵まれた。選手時代の経験から、指導者とは、選手の将来を左右する大事な立場にいることを実感している。

毎年メンバーが入れ替わる中で、その時のメンバーの特徴を生かしたチーム作りをしていかなければならない。テクニク・フィジカル・メンタルレベルなどの差があるが、テクニクに関して、選手のやる気

次第でどんどん上達してい

く。そのやる気を高いレベルで継続させるためにメンタルも鍛えなければいけない。素晴らしいプレーをしているのに自信を持ってない選手、緊張で実力が発揮できない選手などがある。性格がそれぞれなので、同じ言葉をかけても選手によつてとらえ方が変わってきてしまう。普段の学校生活

活などを先生に教えてもらい、モチベーションを上げる為のきっかけを与えられるように、個々にあわせたサポートをしていくよう心がけている。

次に、練習についてだが、限られた時間の中で、いか

に質を上げるかということに重点を置き短期集中型で行っている。練習の為の練習にならないように、試合を想定し、練習の意味を選手に伝える。その際、なんとなく頷いている選手には、目を見て本当に理解したのかを再確認する。チームプレイに加え、個性を生かしそして伸ばす為には、積極的な失敗をたくさんすること。同じミスをお繰り返さないこと。盛り上げの声、指示の声を出すこと。この3点をベースにしている。強くなるには、辛い練習をこなさなければならぬ。反復練習も必要になる。辛い、つまらない練習の時は、メニューをひと工夫して選手にマンネリ感を与えない。選手が試合で最高のパフォーマンスを魅せられるように、引き出しを増やすサポートをしていきたい。

同じホッケーというス

ポーツに出会って、毎日汗を流して頑張っている選手のために、私の持っているすべてを出し切り、ホッケーの魅力、勝つ喜び、達成感を全員で味わってもらいたい。そしてホッケーの好き

レベルが上がり、ホッケーが生涯スポーツとなることを願う。

監督、保護者、関係するすべての方の理解があつて指導させていただける環境に感謝し今後も精進していく。



研修会の報告

「第一回スポーツ指導者 研修会に参加して」

峡中支部

依田久美

(水泳指導者)
(スポーツプログラマー)

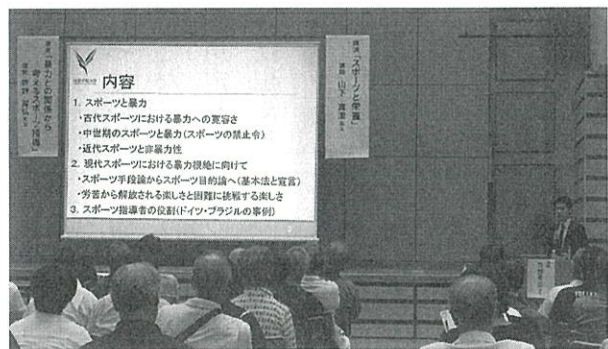


第一部の演題は『スポーツと栄養』スポーツ医科学委員として活躍しておられる山下真澄先生の講演であった。アスリートにとってトレーニング・休養・栄養の三要素が不可欠であること、また日頃の栄養サポートがなぜパフォーマンス向上に繋がるのか詳しく

説明してくださりとても勉強なった。

第二部の演題は『暴力との関係から考えるスポーツ指導』山梨学院大学准教授笠野英弘先生の講演であった。冒頭スポーツの向上には、暴力行為・ハラスメントの根絶が必須である。という話から始まった。指導者に求められることはスポーツの楽しさを伝えること。勝つための困難に挑戦することが楽しいと思わせること。そのためには絶対に体罰・暴力はあってはならないと話された。叱咤激励も相手の捉え方によっては暴言となってしまうこともある。結果にとらわれず、指導者も共に楽しむことが

大切なのだと学んだ。



「第二回スポーツ指導者 研修会に参加して」

東山梨支部

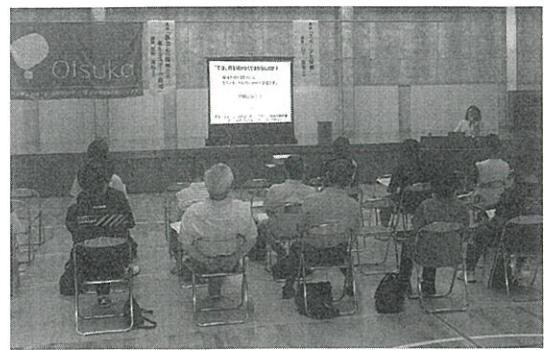
八巻 絵梨佳

(アーチェリー指導員)



選手の競技力を向上するためには、技術だけではなく、体と心の発達や個人やチームの段階に応じた指導が大事である。その為に常に新しい情報を選手に提供できるように指導者自身が学び続け、選手がスポーツを継続して行うための環境づくりをする必要があると考える。今回の指導者講習会では、「スポーツと栄養」「暴力との関係から考えるスポーツ指導」の講演で、選手の生活や環境をいかにして整えることができ

るかに重点を置いていると感じた。指導者不足が問題となっている現状で、きめ細やかな指導を行うためにも、専門的な知識を知る良い機会であった。環境を整えることは練習や試合などの競技中だけでは指導できないので、意識して行う必要があると感じた。選手がより良い環境・健康状態で集中してスポーツに取り組めることができるように得た情報を生かしていきたい。



「第二回スポーツ指導者 研修会に参加して」

映北支部

小泉 由里

(スポーツプログラマー)



韮崎市民交流センター「ニコリ」にて開催された研修会では、まず「スポーツと栄養」について山下真澄先生による講演であった。

栄養の役割、食事のバランスなど、また、栄養摂取が選手のパフォーマンスに影響があることを、山下先生ご自身の経験や選手などの、より具体的な例を挙げて紹介いただいた。バランスの良い食事について、「この食材を加える」といった簡単にできる方法も説明い

ただき、選手や保護者へ伝えていきたい内容であった。

また、「暴力との関係から考えるスポーツ指導」については、笠野英弘先生による講演であった。指導者による暴力、体罰などが社会問題となっているが、スポーツの歴史や各国の事例を挙げながら指導者の役割について説明をいただいた。スポーツを楽しむため、競技力向上のためと、指導者として考えさせられ、興味深い内容であった。

「山梨県スポーツ指導者協議会「特別研修会」に参加して」

陸上競技指導員

中村 直人



今回の特別研修会では、山梨日日新聞社 スポーツ報道部記者の小野田洋平氏から「スポーツ記者から見た山梨のスポーツ」という演題での講演をお聴きしました。

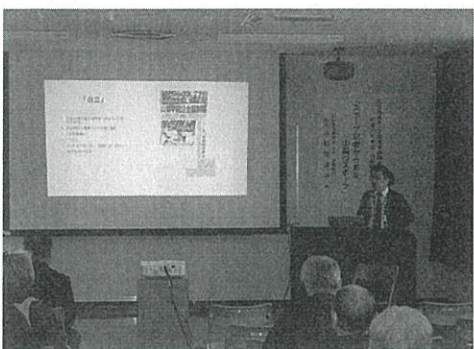
毎日、山梨日日新聞は読んでいて、スポーツ欄には特に関心がありました。普段聴くことができない記者からの貴重なお話を聞くことができました。その中で、特に印象に残った小野田記者の言葉を引用して報告とします。
「トップアスリートもさまざま。選手のオリジナリ

ティーを大切にしてください。取材で何か違いを感じる選手には、それぞれ『芯』があります。それが『個性』のように思いますし、選手を支える『パワー』のようなものを感じます。きつと、それが選手の纏う『オーラ』なんだと思います。…(指導者としては)それぞれの選手の個性を尊重し伸ばすこと。エネルギーがあり、小さくまとまらない選手が伸びているように思います。」

「2009年度全国高校サッカー選手権大会で全国制覇した山梨学院大学付属高校の選手たちは、決勝に向かうバスの中で歌を歌えるような子どもたちでした。練習では(何でボールを出さなかったんだ)というようなことで個性をぶつけあうような子どもたち。一人ひとりのパワーを感じるチームを(決勝ゴールを決めた)確井主将がまとめ

ていた。自分達らしく試合をすすめられたことが勝利につながったのでは。」
ロンドン五輪競泳女子で3つのメダルを獲得した鈴木選手については、「規格外のキック力をもっていたが、純粹に水泳に打ち込める『素直さ』と食欲なまでの『向上心』をもっていった。決勝レース前にも笑顔を見せる。(自分のペースで試合をすすめられる点では学院付高と似ている?) 決勝でもレースを楽しめてしま

うすごさを感じた。」
この他にも、レスリングの米満選手、乙黒選手、水泳女子の萩原選手、卓球の平野選手、サッカーの日本航空高校、駅伝・柔道の山梨学院大学等の選手や指導者についての貴重なお話も伺うことができました。山梨のスポーツの発展を願う気持ちと同じ。共に応援していきましようというところで講演は終わりました。



笛吹支部 研修会 報告

公認スポーツ指導者全国研修会に参加して

笛吹支部 支部長

半田 昌一

当支部では設立から、笛吹支部、甲府支部、東山梨支部の3支部合同指導者研修会を開催していたが、平成19年度で終了したため、当支部独自で公認スポーツ指導者全国研修会に平成20年度から参加している。

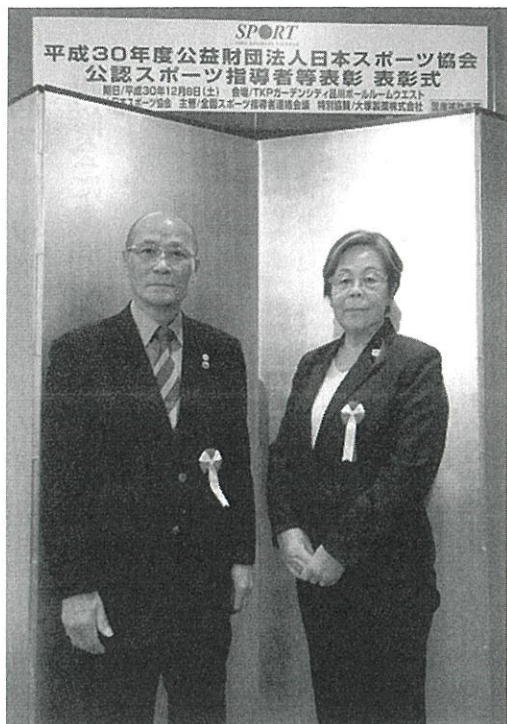
この研修会は文化の創造

り、当支部の全国研修会参加は20年目を向かえた。研修会に先立ち行われた表彰式では、永年にわたり公認スポーツ指導者としてご尽力され、顕著な功労が認められた全国の方々表彰され、山梨県においては、笛吹支部2名・南都留及び峡中支部1名の方々に表彰盾が授与された。

加は20年目を向かえた。研修会に先立ち行われた表彰式では、永年にわたり公認スポーツ指導者としてご尽力され、顕著な功労が認められた全国の方々表彰され、山梨県においては、笛吹支部2名・南都留及び峡中支部1名の方々に表彰盾が授与された。

マに、人（組織）が動かす理由は何か、自身の経験を踏まえた話をされた。その後の特別対談では、「2019年NHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺〜』ウラ噺」をテーマに、同ドラマで足袋のハリマヤ「黒坂辛作」を演じるピエール龍氏、制作総括を勤める訓覇 圭氏より、ドラマの制作で触れた日本のスポーツの歴史や撮影の裏話を聞くことができた。

最後に「日本スポーツ協会におけるアスリート発掘事業の現状〜J-I STARプロジェクト1期生を振り返って〜」のテーマのもと、タレント発掘事業の成果・課題などシンポジスト3名の対談で行われた。



特別講演では、品川女子学園理事長の漆紫穂子氏から「スポーツ指導に役立つ組織改革と相手のやる気を引き出すコミュニケーション」をテ



平成三十年度

「山梨県スポーツ指導者協議会表彰」

功労表彰



植村 詔子 (バレーボール指導員)



保坂 重機 (陸上競技コーチ)



間瀬 正次 (バレーボール指導員)

公認スポーツ指導者表彰を受賞して

笛吹支部 植村 詔子

(バレーボール指導員)

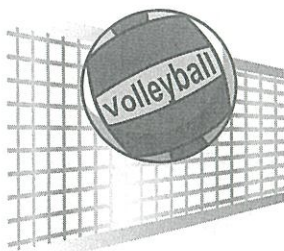
このたび平成三十年度「公認

スポーツ指導者全国表彰」を受賞するにあたりご推薦いただきました笛吹支部、並びに県スポーツ指導者協議会各位のおかげと心より感謝し厚くお礼申し上げます。

現在にいたっております。

ソフトバレーボールがあまり普及されていない頃、石和町で全国大会を開催しようと兵庫、広島、山口県と研修に行き無事開催する事が出来ました。その方はもうお亡くなりになりましたが一緒にこの受賞を喜びたいと思います。若い指導者が出てくる中、核となる人材が育って来たら良いと期待致しております。

受賞式の講演の中で「地域には核となる人がいることが必要」との言葉が深く心に残りました。それは身近に核となるすばらしい先輩指導者がいた事でした。その方に勧められ何も知らないままバレーボールの道に入り平成元年スポーツ指導者の資格を取得して以来スポーツ少年団、ソフトバレーボール、ママさんバレーボールの指導審判を続け



平成三十年度

「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰」

永年表彰



岡村 勝 幸 (ソフトテニス上級コーチ)



宮下 清 史 (テニス上級指導員)



間瀬 正 次 (バレーボール指導員)



植村 詔 子 (バレーボール指導員)

全国公認スポーツ指導者表彰

笛吹支部 副支部長 間瀬 正 次

(バレーボール指導員)

この度、平成三十年度公認スポーツ指導者全国表彰を推薦して頂き恐縮すると共に推薦して頂いた各スポーツ指導者協議会の関係者並びに諸先輩方のお陰で受賞することが出来、心より大変感謝申し上げる次第であります。

昭和六十一年のかいじ国体に向け山梨県バレーボール審判委員会に所属し公認審判委員の資格を取得し大会運営に携わり大変良い経験が得られ、その経験を生かし各連盟に於いて審判技術向上へと携わって来ました。

スポーツの基本は心身の健全な発達、健康及び精神を養う体力向上の場でもあります。その

為に各種指導者研修会等に参加し日々の活動に生かし、スポーツの楽しさを教えていくと共に、此れからも指導者として携わっていきたくと思います。

今回の全国研修会のテーマ「スポーツ指導者を取り巻く環境の変化」を受講し心を新たため積極的に参加し活動して行きたいと思えます。



平成30年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成30年	4月7日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬中銀スタジアム 他
	5月10日(木)	平成29年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月11日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月16日(水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月9日(土)	平成30年度山梨県スポーツ指導者協議会 総会及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	6月17日(日) 18日(月)	関東ブロックスポーツ指導者協議会 総会・研修会	群馬県渋川市伊香保町
	7月13日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月18日(水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月2日(日)	第2回研修会	甲州市勝沼体育館
	11月9日(金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月14日(水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月28日(水)	臨時活動促進部会	小瀬武道館第2研修室
	12月7日(金)	平成30年度全国スポーツ指導者連絡協議会 幹事会・全体会	TKPガーデンシティ渋谷
	12月8日(土)	平成30年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	TKPガーデンシティ品川
平成31年	1月27日(日)	第3回研修会	韮崎市民交流センター「ニコリ」
	2月22日(金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	2月23日(土)	特別研修会	小瀬体育館研修室
	2月27日(水)	第4回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月31日(日)	会報第29号発刊	

平成31年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成31年	4月6日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬武道館
2019年	5月17日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月22日(水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月8日(土)	平成31年度山梨県スポーツ指導者協議会 総会及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月19日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2研修室
	7月24日(水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月 (未定)	第2回研修会 特別研修会	峡中・峡南支部地区 未定
	11月15日(金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月20日(水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	12月6日(金)頃	平成31年度全国スポーツ指導者連絡 協議会幹事会・全体会	東京都
	12月7日(土)頃	平成31年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	東京都
2020年	1月	第3回研修会	南都留・北都留支部地区
	2月14日(金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	2月19日(水)	第4回理事会 専門部会	小瀬武道館
	3月 下旬	会報第30号発刊	

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故

保険期間

2019年4月1日午前0時から
2020年3月31日午後12時まで



加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒を含む	スポーツ活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	180万円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動								
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同額	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	対象外
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「2019年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	180万円
		B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	⚠️ 自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。	
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

スポーツ安全協会 山梨県支部 〒400-0836 甲府市小瀬町840

〈(公財)山梨県スポーツ協会内〉

TEL **055-243-3920** 電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(2019年4月予定)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン/日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

2018年12月作成 18-T07915

発行元
山梨県スポーツ指導者協議会
〈事務局〉

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840
公益財団法人 山梨県スポーツ協会内
TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599

編集：広報普及部

会報は協議会の活動等を会員の皆様にお伝えするためのものです。スポーツ指導者に関係する情報がありましたら、事務局へ情報を提供してください。

